

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	ハートの家貳番館 1	評価実施年月日	平成20年11月12日
評価実施構成員氏名	鳥谷部教恵・星野文子・小野寺洋子・木村耕治・藤井梨恵・川村めぐみ・高玉加奈子・久保道子		
記録者氏名	佐久間久美子	記録年月日	H20・10・27

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を正在している。</p> <p>法人としての理念を作り地域の中で入居者が仲間として町内に入って行ける様取組んで居ります。</p>	○	現在異動になり間が無いので取組んで行きたい課題は多々あります。
2	<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取組んでいる。</p> <p>理念に基づいて行動・支援に取り組んで行きつつ有ります。</p>	○	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取組んでいる。</p> <p>努力して居ります。</p>	○	御家族様とは、来訪時・TEL等で出来る限りお話をさせて頂いております。近所に向けても色々ホームから発信できる事を一つひとつさせて頂いております。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p> <p>現在朝の挨拶、犬の散歩時、ゴミ捨て程度のお付き合いに成っております。</p>	○	今後も挨拶だけではなく、気楽に立ち寄って頂ける様何をすべきか考えて行きたいと思っております。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p> <p>文化祭等に参加させて頂いたり、地域のボランティアさんに来て頂いたりの交流は出来つつ有ります。</p>	○	数年前より文化祭には参加させて頂いておりますが、今後は避難訓練等にも参加が出来ればと考えております。
6	<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取組んでいる。</p> <p>現在は出来ておりません。</p>	○	今後地域でお1人暮らしの方々との交流や御食事会などを考えて居ります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	意義は理解しており、評価に付いても取り組んで行っております。	○	新しい方にも簡単に理解出来る様に説明又は気軽に読んで行ける様な工夫が必要かと思っております。
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現状のホームの状況説明をしたり、ホームとして地域へ発信できる事など色々な事に付けサービス向上の1つとして取り組んで居ります。	○	今後御近所の方の参加と、入居御家族様の参加人数を増やし入居者様が地域で生活出来る体制を会議の中で検討させて頂きたいと思っております。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	管理者会議や月々の報告等で連携を取らせて頂いております。		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	研修会や勉強会には出席させて頂き活用させて頂いております。		
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	勉強会にはスタッフも出席させて頂き、マニュアルも作成させて頂いております。又勉強して来たスタッフがホームにて再度勉強会を開いて居ります。		
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	必ず数回必要に応じて説明納得して頂いております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者とは、出来るだけフランクに意見が言える様に努力しております。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	ホーム便り、電話等でその都度御知らせしております。		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情箱の設置や、不満に対して必ず御家族に聞く様にしております。		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の見解や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員の面接等も必ずスタッフの意見を聞いております。色々な希望に関しましても出来る事は極力聞いております。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	外出、外泊、御家族と一緒に受診等必要に応じて勤務体制を確保しております。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	努力はしておりますが、出来ていない部分も多いかと思っております。	○	職員の退職、異動によりどれだけの入居者様のダメージになるか、今後きちんと把握して行かなければと考えて居ります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>法人内で研修(年3回～4回程度の大きな研修)があります。また年間予算が各ホームに有り希望する研修に出席出来る様になっております。</p>	○	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>東区の管理者会議があり、研修や他ホームとの交換訪問などもあります。</p>	○	<p>今年は未だ交流が出来て居りません。今後も他のホームを知らないスタッフ等良い勉強になると考えますので実行して行きたいと思っております。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>法人でフットサル等のサークルはありますが、参加出来ない人等のための工夫は無い状況です。</p>	○	<p>一部のスタッフのみでは無く、様々なスタッフが相談や愚痴が出来る場所や機会を設けて行く必要が有ると思っております。今後色々な面で相談していかなければ行けない課題と考えて居ります。</p>
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> <p>毎月法人の管理者会議が有り各法人の悩み等の相談、報告などしております。新しい情報なども勉強出来る様になっており、管理者はスタッフの方に、情報等伝え出来るだけスタッフの向上心を高める努力をしております。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>入居前には数回の面談を持ち御本人又は御家族の意向を聞いております。必ずホーム見学も御家族様、御入居なさる御本人様に来て頂いております。又直忘れる事に関しましても、御家族様にホームに入る事を説明して頂其の場限りでも、納得して頂いております。</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>御家族さまの意向は出来るだけ聞かせて頂き納得出来るまで説明、お話をさせて頂いて居ります。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談時に本人、御家族様の意見や状況等確認し改善に向けた支援、場合により他サービス期間に繋げるといった対応しております。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	生活歴や御家族からの情報により、此处での生活に馴染める様にサービス内容に組み込んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	入居者様と共に作業を行い、互に支えあう関係を築いている。又入居者様が得てきた知識を教えてもらう事により支えあう関係を築いている。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	訪問時にスタッフが御家族様に対して御本人の近況を報告、その上で相談等行い共に御本人を支援しています。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	御家族様訪問時、入居者様の様子を伝えたり、少しでも長く良い関わりがもてるよう配慮しております。	○	遠方の御家族にも会えるような機会を持つ働きかけが必要
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	訪問は基本的に自由であり、入居者様が望めば外出、外泊等好きな時好きな時間に出来ます。連絡は御本人、スタッフが取って送迎等行なって居ります。	○	入居者様は自由に電話、手紙等で連絡が取れる様に成っていますが、一部取れない入居者様は、全ての入居者様が御家族と電話だけでも連絡しあえる様にして行きたいと思っております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	入居者様同士の気の合う方、合わない方をスタッフは把握しており、食事の席、外出時の同行等工夫しております。生活の中で入居者様の出来ることとして貰えるよう心掛けています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	同一法人の施設に移った方は行事等で一緒になり入居者様、職員とも声を掛け合い懐かしんでいる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様1人1人の希望・意向を聞き援助している。		必要な買い物、希望する買い物は本人と行なっています。又行事参加も本人の意思で決めております。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	誕生から是までの生活歴や暮らし方等、御本人や御家族または極近い方々から情報を得て生かしております。		御本人が得意な事、好きな事、大切に出来た物等日々の生活の中に取り入れるようにしております。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日々の生活を日誌に記録し、申し送りノートを活用し情報の共有化をしております。		スタッフは自分のいない日の日誌を読み、申し送りのノートを確認情報の共有化し確かめております。確認印を使用しており、全員が同じ情報を共有しております。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	月1回の検討会議(変化時の緊急検討会議)を行い1人1人の介護計画を作成している。御家族にも見て頂いて意見、希望等聞いております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>		<p>転倒時、退院時等其の場に応じた見直しを常に行っています。</p>
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		<p>毎日実践した介護計画を日誌に記録しております。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>		<p>通院介助や入居者様や御家族様の希望の美容室、病院、買い物等行っております。</p>
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。</p>		<p>週1回の社交ダンス・避難訓練時の消防、町内会の文化祭の参加等の関わりを持たせて頂いています。</p>
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。</p>		<p>必要に応じた訪問歯科、訪問理美容等利用させて頂いております。</p>
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p>	○	<p>今後様々な面でもっと包括センターとの協力が必要に成って行く事なので関係性を強めて行きたいと思っております。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>		御家族来訪時に確認の意も含めて相談をしております。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	○	今後はスタッフのスキルアップ、終末期の対応等勉強して行く必要が有ると考えております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>49</p> <p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>移り住む際や受入れ時には、関係者と密に情報交換し、御家族様や本人に対して住み替えによるダメージを極力防ぐ様に対応しております。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50</p> <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>入居者様1人1人に対しプライドやプライバシーを損ねるような対応、言葉掛けはしておりません。</p>	○	<p>今後も言葉掛け、対応に付いて(プライバシー、羞恥心、等)大切に大人の人間として支援して行きたいと思っております。</p>
<p>51</p> <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>入居者様の個人性を重視して時間を掛けて傾聴し言葉だけではなく表情を見たりわかりやすい説明を行い押し付けるようなことをしないよう取り組んでいる。</p>		
<p>52</p> <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>基本的には1日の同じ流れの中で過して頂いておりますが、一人ひとりのペースを大切にし一日の中で買い物・散歩・行事等と流れは変化しています。</p>	○	<p>但し入居者様全員の要望や希望を全て叶える事が出来ない場合も有ります。今後の課題として考えなければと思っております。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53</p> <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>着替え(好きな服選び)は基本的に本人がめておりますが見守り支援が必要な時もある。理容・美容はご本人が希望する店を利用している。</p>		
<p>54</p> <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>献立、調理盛り付けを工夫し配膳、下膳、あとかた付け等の作業を入居者様個々の力を活用しながら職員と一緒に作業を行っております。食事は職員も一緒にテーブルで雰囲気作りに努めて居ります。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	お酒、を好まれる入居者様に対しては行事や希望時に合わせ楽しんで頂いております。おやつ、飲み物等一人ひとりの状況に合わせて日常的に取り組んでおります。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	毎日、毎回の記録を活用し全職員が共有し排泄パターンを把握時間誘導等で失敗する事が少なく成るように支援しております。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	基本的に入浴日が決まっているが、嫌がる入居者様に対しては無理強いせず気分次第で入浴してもらっている。入浴には個人の時間を大切にコミュニケーションを十分にとり楽しんでもらえるよう支援している。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	日中の活動を取り入れ個々の状態にあった活動を支援し生活リズムを整え不眠時には傾聴し安心を促すよう心掛けております。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	入居者様が経験を活かし出来る事等スタッフと一緒に楽しく行えるような環境づくりの支援をしています。		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭管理が出来る方に対しては個人で使用して頂いていますが、家族よりお金を預かり事業所が管理している方は、買い物等気軽に使えるよう支援しております。		金額の大きな物に関して、季節の服や靴等も購入時には御家族の許可を得ております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。</p> <p>御本人の希望に応じ天気の良い日には散歩にでかけたりドライブ、買い物等に参加出来るよう支援しております。</p>		
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。</p> <p>地域のイベント参加、お花見、一泊温泉旅行など実施しており御家族様の参加を呼びかけております。</p>	○	御家族様の参加が少なく今後もう少し情報交換をしながら気楽に参加出来る体制を作って行きたいと思って居ります。
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p> <p>入居者様の希望する電話等常に支援しており、お手紙も御本人に手渡し(読んであげたり、代筆のお手伝いを)しております。</p>		
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p> <p>御家族、友人等いつでも来訪して頂ける様に支援しております。又食事、おやつに関しても一緒に召し上がって頂ける様に支援しております。</p>		
(4)安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> <p>勉強会やミーティング等で身体拘束を絶対しないケアを話し合い実践しております。</p>		
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p> <p>基本的に玄関は常に鍵は掛けておりません。居室も御本人が自ら鍵を掛けない場合はスタッフから鍵を掛ける事は有りません。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	職員配置に気を配り必ず入居者様を見守り出来る様に支援し、物音には常に様子を伺い声かけを行っております。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	入居者様の状況に合わせてながら保管(鍵を使用)管理をするものと安全な物を分けています。又使用希望する場合は(爪きり、包丁、鋏)スタッフが必ず見守りを行っております。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	日々の様子(認知、体力、)等を観察記録し、検討会議などで1人1人の状態を把握個々にあわせて事故防止に取り組んでいる。		誤薬等を防ぐ為必ず2名以上のスタッフ確認を行い服用して頂いております。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	外部研修や救急救命の講習に参加し、参加職員が先生となり勉強会で全職員に伝えております。又マニュアルを作成しております。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年2回の避難訓練、消防士からの消火器等の使用や非難する時の注意等勉強。避難場所は御近所に御願ひしております。火災報知器、災害時ホットラインの設置もして有ります。	○	今後どんな形で地域の方々の協力が得られる様になるか、推進会議等で話し合いを始めたばかりです。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	入居者様の現在の状況を出来るだけ御説明起こりうるリスク(転倒、持病の増悪等)説明させて頂いております。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	個々の日常の状況を把握、食事・排泄・水分チェックし、体調の変化に気を付けております。状況に合わせて担当医に連絡や受診で対応しております。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	最新の処方箋を個人ファイルに管理職員全員が内容確認が出来る様にしている。服用の際には2名以上で確認し合い内服している。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	水分摂取に充分気を付けており(1000ml)以上飲用、食事にも繊維質の物を取り入れ必ず乳製品を心掛けています。又朝食後にはトイレの習慣を心掛けております。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	食後の歯磨き義歯洗浄は1人1りの口腔状態に合わせて日常的に支援しております。	○	拒否の有る入居者様に関して中々出来ない事も有り就寝前のみと成っている方も居り今後の課題と成っております。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量・水分の摂取状況を毎日記録に残し全職員で情報を共有しています。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	ホーム内で起こりうる感染症についてはマニュアルを作成、全職員で取り組んでいます。感染症についての研修会も法人として行っており、予防接種等については入居者様の御家族と話し合い接種を実行しており、スタッフも法人として実行しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	スタッフは台所調理器具等の衛生管理に努め、食材に付いても日々買って居り新鮮な物を使用しております。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関横の花壇にはなを作り(入居者様と一緒に)ホームの裏には畑がありじゃが芋や野菜を作っております。玄関内のホールにもプランター等置いてホット出来る様に気配りをしております。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居間や廊下等に季節を感じられる飾り付けや思い出の写真を入居者様と一緒に飾り心地良い空間づくりに努めています。共有のトイレ、お風呂、洗面所には、入居者様の目線に配置させて頂いております。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居間にはソファテーブル、TVを置き本棚やカレンダーを貼って居心地の良い空間を作り利用者様が自由に過ごせる場所を作っております。		
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には、御本人御家族の希望を出来るだけ取り入れ使い慣れた物や馴れ親しんだ馴染みの物を活かし御本人が居心地良く過ごせる様な工夫をしています。		
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	各部屋の暖房は個々に合わせて温度調節出来る等入居者様の状況に合わせて行っております。換気扇や消臭剤で工夫しております。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ホーム全体がバリアフリーで移動場所には手すりを設置し安全で自立した生活が送れるようにしております。台所などもオープンに成っており自由に出入り出来る様にしております。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	利用者様の個々の認知度を考慮し不安や混乱、失敗を招く事が無いように環境や品々に付いて検討し状況に合わせてながら工夫整備をしております。		
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	花壇や畑など入居者様が収穫の楽しみを味わったりテーブルに花壇の花を飾ったりしており、観葉植物などにも毎朝の水遣りを楽しんでおります。ベランダの物干しから洗濯物を取り込んだりと工夫をしております。		今後畑の横の部分にパラソルやテーブル、椅子等を置いて畑の野菜、花等見ながらお茶を飲んだりする事が出来るスペースを考えていきたいと思えます。

V. サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない	○ 全員を把握するところまでは行っていない。今後はもう少し理解を深めて行く必要が有る
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	○ 個々の希望や要望をしっかり受け止めて意欲を引き出して行く努力が未だ足りないと感じます。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	○ 出来るだけ要望に応える努力はしております。但しどうしても出来ない事もあり御本人と話しあって後日になる事など納得して頂いております。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない	○ 今回職員の異動等で全員の御家族との信頼関係は今ひとつと考えて居ります。今後もっと密に話し合いや相談に乗れるよう努力が必要と考えて居ります。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない	○ 現在は御家族が主に訪ねてくださっており、年に数回御近所の方が訪ねてくださる状態です。ボランティアさんは週1回～大勢さんは年2回程度と成っております。今町内会長さんの伝にて小学校、幼稚園の生徒さんに声をかけて頂いております。

V. サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<ul style="list-style-type: none"> ①大いに増えている ②<u>変しずつ増えている</u> ③あまり増えていない ④全くいない 	○ 少しでは有りますが、町内会会長さんとの繋がりや民生委員さんとの関わりの中で良い関係ができつつ有る所です。
98	職員は、生き生きと働いている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての職員が ②職員<u>の2/3くらいが</u> ③職員<u>の1/3くらいが</u> ④ほとんどいない 	○ 未だ職員の移動が有ったばかりで相互理解も中々上手く行っていないような気がします。これから色々努力していく途中とっております。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者<u>の2/3くらいが</u> ③利用者<u>の1/3くらいが</u> ④ほとんどいない 	○ 自分達は出来る事を頑張っているつもりですが、全部が全部満足しているとは思えません。今後も出来るだけ満足して頂ける様努力していきます。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての家族等が ②<u>家族等の2/3くらいが</u> ③家族等<u>の1/3くらいが</u> ④ほとんどいない 	○ 御家族は満足している様なお話をさせていただきますが何かと不満は有るのではないかと思います。これからの課題として御家族様が話しやすい状況を作って行かなければと思います其の為に現在TEL等で働きかけを行ないつつあります。
【特に力を入れている点・アピールしたい点】			
(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)			法人として独自の研修を多方面から講師を御願いし実施しております。スタッフが出来るだけ参加をしてスキルアップを心掛けて居ります。